PCP-2100

プリン写(しゃ)ル

ハガキ&フォトプリンター

取扱説明書

入門編

- 操作を始める前に、本書の「準備をしましょう」をご覧ください。
- 本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を別冊の取扱説明書「応用編」に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
- 本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

MO1206-A

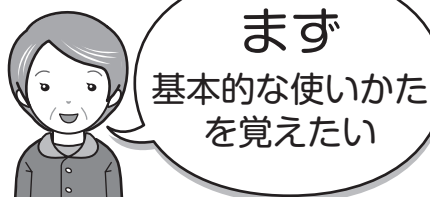
こんなときは、どの説明書を読む？

本機の説明書は次の５種類です。目的に合わせてお読みください。

プリン写ルの
使いかたを
映像で見たい

早わかり DVD

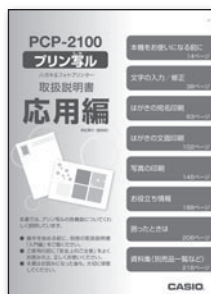
（再生時間：約20分）

プリン写ルをお使いになる前に、ぜひご覧ください！

まず
基本的な使いかた
を覚えたい

（本 書）

取扱説明書 入門編

プリン写ルを使うための基本的な操作をやさしく説明しています。

さらに
いろいろな使い
かたを知りたい

取扱説明書 応用編

プリン写ルのすべての機能と操作方法を掲載しています。

デザインカタログ

本機に内蔵されているデザインやイラストを見ることができます。

年賀状イラスト集2013

付属のメモリーカードに入っている豊富な年賀状のデザインを見ることができます。

目次

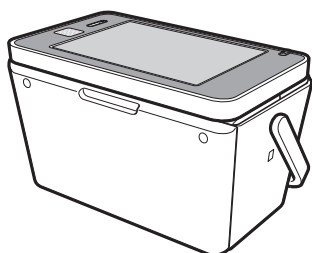
●本書中のマーク について

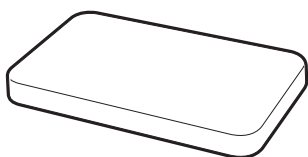
重要 必ず読んで守っていただきたい重要な情報を記載しています。

ポイント 参考情報や、知っておくと便利な情報を記載しています。

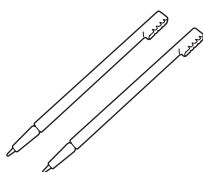
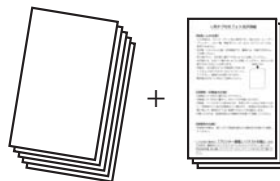
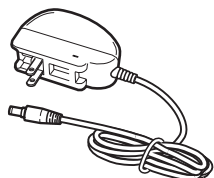
箱の中身を確認してください

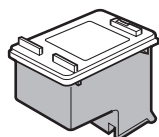
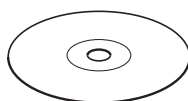
お買い上げいただきました箱の中に、次のものが入っているか確認してください。
足りないものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

本　体

・取扱説明書　入門編（本書）
・取扱説明書　応用編（保証書付）
・デザインカタログ

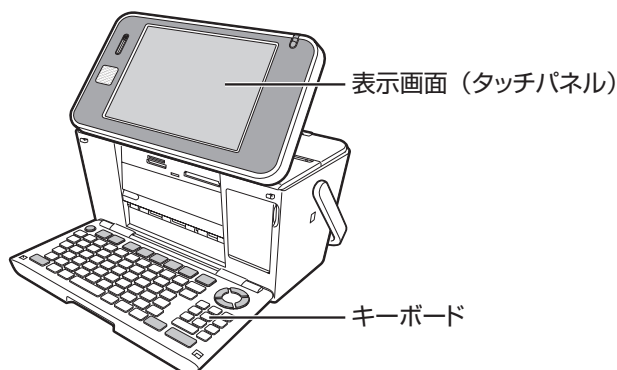
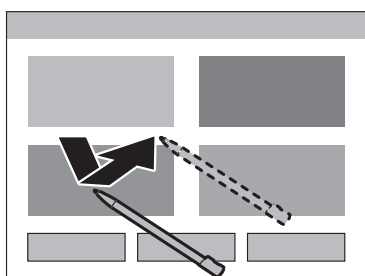
タッチパネル保護カバー
本体に装着されています。

・年賀状イラスト集 2013
・イラスト入りSDカード

＋

タッチペン　2本

L判フォト光沢用紙　5枚
＋
プリンター調整用用紙　3枚

ACアダプター
（AD-3209S）

はがきサイズ用紙　5枚

お試し用プリントカートリッジ
HP110

早わかりDVD

microSDアダプター

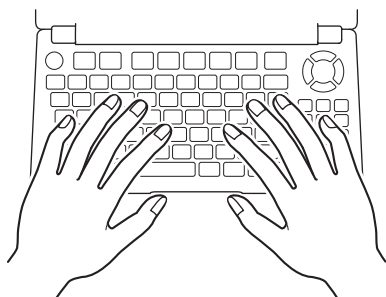
操作について

本機の基本的な操作は、付属のタッチペンで表示画面（タッチパネル）をタッチして行います。
また、文字を入れるときは主にキーボードを使います。

タッチする

表示画面を付属のタッチペンで押して離します。

- 画面に表示される内容をタッチしていくと、操作できます。

重要 タッチパネルの表面を強く押したり、力を込めてタッチしたりしないでください。タッチパネルに傷が入ったり、割れたりすることがあります。

- タッチ操作について、詳しくは、取扱説明書「応用編」33 ページをご覧ください。

文字を入れる

文字を入れるときは、キーボードのキーを押して入力します。➔取扱説明書「応用編」40 ～ 52 ページ

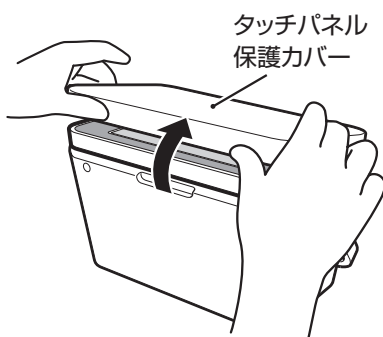
文字は表示画面に手書きで入れることもできます。
➔取扱説明書「応用編」53 ～ 56 ページ

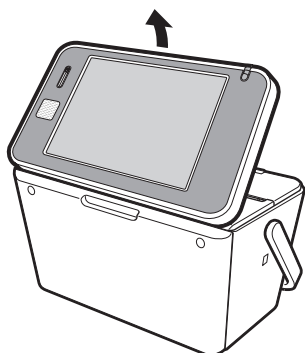
- 付属のタッチペンは、コメントプリントでイラストを描いたり文字を手書きしたりするときにも使います。➔取扱説明書「応用編」163 ページ

準備をしましょう

本機をお使いいただくための準備について説明します。

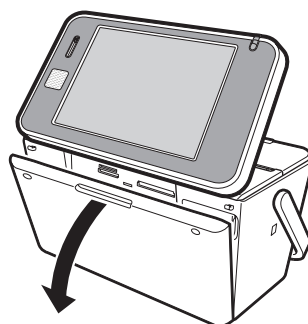
1 画面とキーボードをセットする

1 タッチパネル保護カバーを手前側からはずします。

2 表示画面の角度を調整します。

見やすい角度に合わせてください。

- 画面を固定して使用してください（取扱説明書「応用編」16 ページ）。

重要 「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

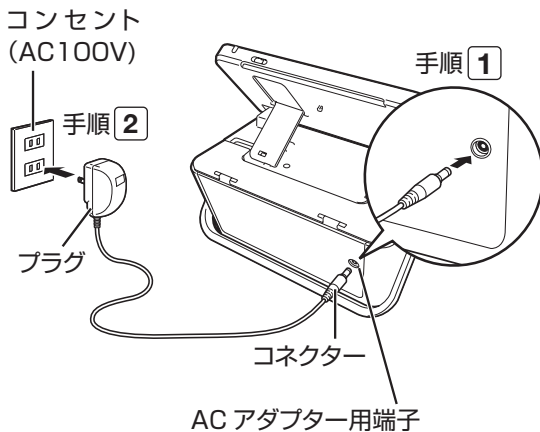
3 キーボードを開きます。

本体上部を押さえながら、キーボードを開きます。

● **キーボードを閉じるときは**

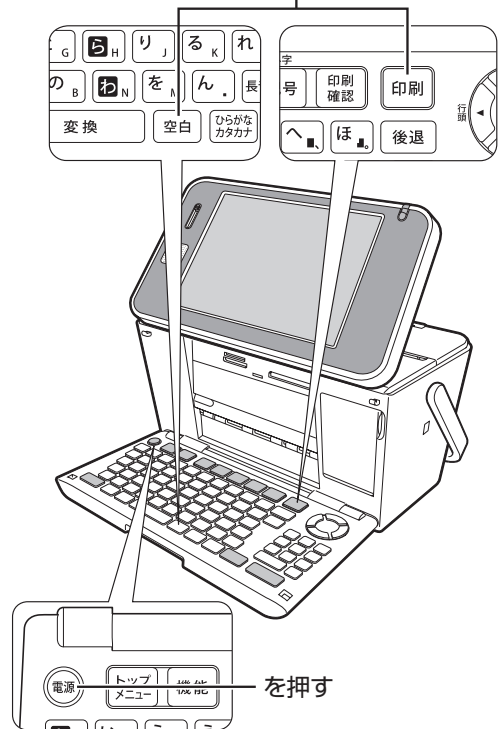
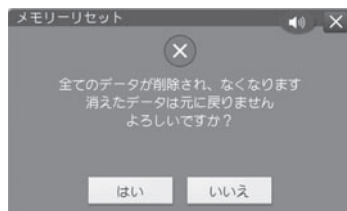
キーボードをカチッと音がするまで押し上げます。

2 AC アダプターを接続する

1 付属のACアダプターのコネクターを本体に接続します。

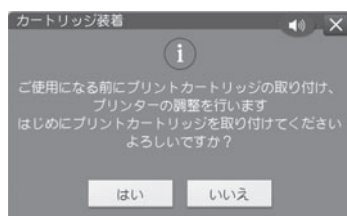
2 AC アダプターのプラグを、ご家庭用のコンセント（AC100V）に差し込みます。

3 リセット（初期化）をする

重要
- はじめてプリン写ルをお使いになるときは、必ずリセット（初期化）を行ってください。
- リセット（初期化）を行うと、ご購入後に登録したデータがすべて消えたり、設定がお買い上げ時のものに戻ってしまいます。必要のないときは、絶対に行わないでください。

1 電源が切れている状態で 印刷 空白 をいっしょに押しながら、電源 を押し、約3秒後に 電源 だけ指を離します。
リセット（初期化）の確認メッセージが表示されたら、印刷 空白 から指を離します（表示されるまで時間がかかる場合があります）。

電源が入り、リセット（初期化）の確認メッセージが表示されます。

重要 確認メッセージが消えてしまった場合は、(電源)を押して電源を切り、再度、手順1の操作を行ってください。

2【はい】をタッチします。

リセットが実行され、下の画面が表示されます。

- 【いいえ】をタッチすると、リセットは実行されません。

音声ガイドについて

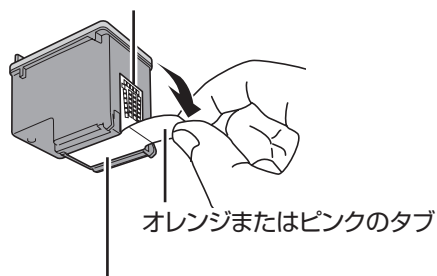
本機では、音声で操作の説明が流れます（音声ガイド）。➔取扱説明書「応用編」13ページ

- 表示画面左の音量ボリュームをスライドさせて、音量を調整します。
- (音声ボタン)をタッチすると、直前に流れた音声ガイドをもう一度、聞くことができます（(音声ガイド)を押しても、もう一度、聞くことができます）。
- 音声ガイドによる説明のない画面もあります。

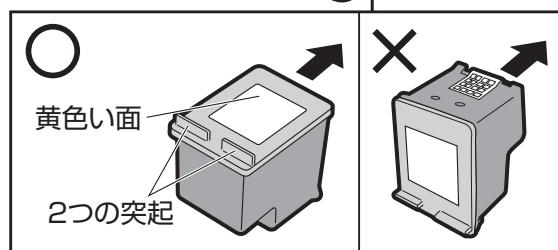
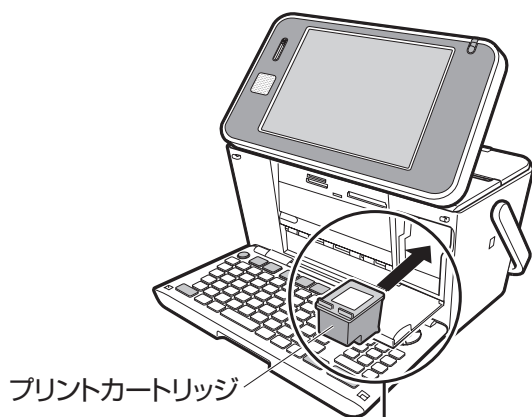
4 プリントカートリッジをセットする

1 付属のプリントカートリッジを袋から出します。

2 プリントカートリッジについているオレンジまたはピンクのタブを引いて、透明のプラスチックテープをはがします。

重要 金色の金属フィルム部分は絶対にはがさないでください。プリントカートリッジが使用できなくなります。

3 プリントカートリッジ収納部カバーを開きます。

プリンターが動いて、カートリッジエラーのメッセージが表示されます。

4 プリントカートリッジを収納部にセットします。

ラベルのある黄色い面を上、2 つの突起がある方を手前にして、セットします。

「カチッ」と音がするまで、奥へ押し込みます

セットされた状態

5 プリントカートリッジ収納部カバーを閉めます。

エラーのメッセージが消えます。

・カバーが開いていると、エラーが表示されます。

重 要 プリントカートリッジを正しくセットしても「カートリッジ装着エラー」などのメッセージが表示される場合は、プリンターやプリントカートリッジのクリーニングを行ってください（取扱説明書「応用編」196、202 ページ）。

プリントカートリッジ 使用上のご注意

- **プリントカートリッジは、改造および再利用しないでください。なお、プリントカートリッジの改造やインクの詰め替えなどによって生じたプリンターおよびプリントカートリッジのトラブルについては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。**

- その他の注意事項については、取扱説明書「応用編」21 ページをご覧ください。

5 プリンターの調整をする

1 プリントカートリッジをセットしたら、【はい】をタッチします。

プリンター調整画面が表示されます。

プリンター調整の音声が流れ、メッセージが表示されます。

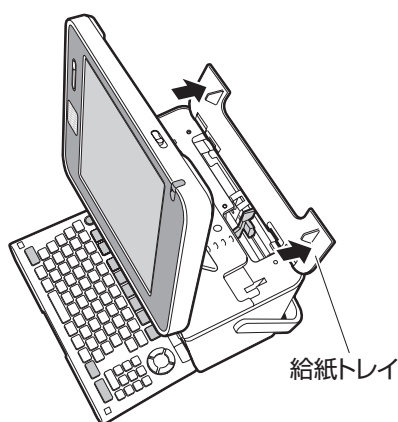
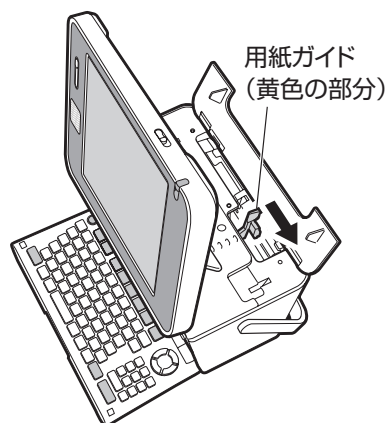
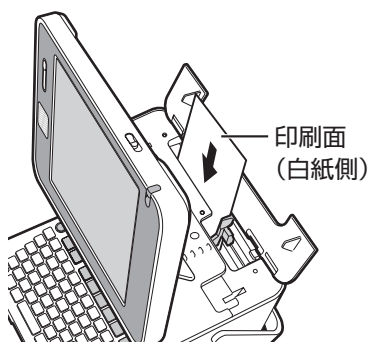
- 表示画面左の音量ボリュームをスライドさせて、音声ガイドの音量を調整してください（取扱説明書「応用編」13ページ）。

6 調整用の用紙をセットする

1 付属のプリンター調整用用紙（「L判フォト光沢用紙使用上のご注意」の裏面）を用意します。

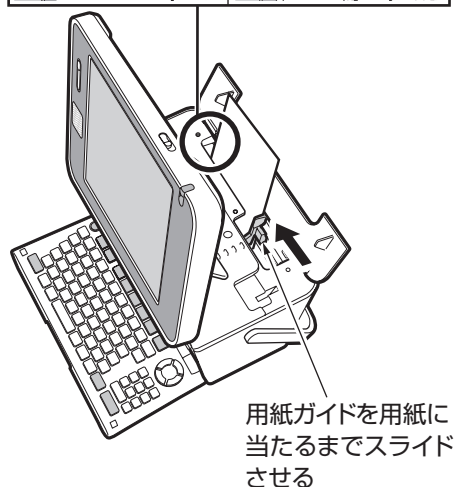
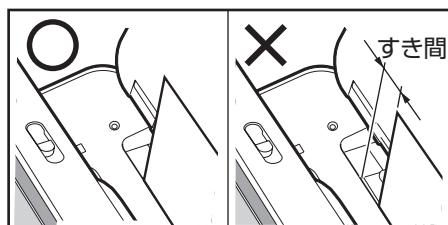
- 「プリンター調整用用紙」を使い終わった場合は、不要になった郵便はがきなどの「白色の用紙」をお使いください。
- 白色以外の用紙を使うとプリンター調整が正しく行われません。

重要 **コピー用紙などの薄い紙や、形状が不定形な用紙などは故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。**

2 給紙トレイを開きます。

3 用紙ガイドを右側に拡げます。

4 プリンター調整用用紙の印刷面（白紙側）を表側にして、左端を挿入口の左端に沿わせて、軽く止まるまで差し込みます。

・用紙が正しくセットできないときは、取扱説明書「応用編」の 25 ページを参照してセットし直してください。

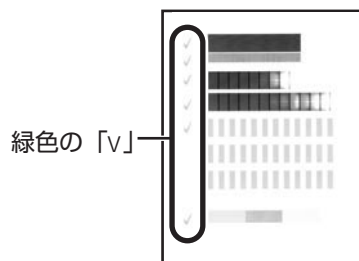
5 用紙ガイドを用紙に当たるまで左側にスライドさせます。

用紙の両端にすき間ができないようにセットしてください。正しくセットしないと､用紙が曲がって挿入され､正しく印刷できないことがあります。

7 プリンターの調整を開始する

1 排紙トレイを引き出します。

2【調整開始】をタッチします。

印刷が始まります。
印刷が終わると時計の設定画面が表示されます。
・印刷開始まで 2 ～ 3 分かかる場合があります。

3 結果を確認します。

・用紙に、緑色の「v」が印刷されていれば、調整は正しく行われています。
・赤色の「×」が印刷されているときは、取扱説明書「応用編」の 195 ページを参照して、もう一度プリンターの調整をしてください。

4 排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

8 時計の日付と時刻を合わせる

重要 日付と時刻は必ず合わせてください。本機で印刷する年賀状の干支や年号は、内蔵時計に合わせて自動的に選択されます。

1 設定する項目の【▲】【▼】をタッチして値を合わせます。

【▲】【▼】をタッチするたびに値が1（–1）ずつ変化します。(例：2012年12月1日13時45分に合わせる)

2 【決定】をタッチします。

- 日付や時刻を変更したい場合は、次ページの手順 10 の操作が終了した後に、変更することができます。
➔ 取扱説明書「応用編」189 ページ

9 文字を入力する方法を選ぶ

次の 2 種類の方法があります。入力しやすい方法を選んでください。

・かな入力

キーに印刷されているひらがなを直接入れる方法です。

例　じろう ➔ [し W] [゛ O] [ろ :] [う ﾃ]

・ローマ字入力

キーに印刷されているアルファベットを使い、ローマ字読みでひらがなを入れる方法です。

例　じろう ➔ [り J] [よ I] [せ R] [゛ O] [ゆ U]

1 選びたい入力方法をタッチします。

明るさ調整設定画面が表示されます。

・文字入力方法を変更したい場合は、手順 10 の操作が終了した後に、変更することができます。➔ 取扱説明書「応用編」201 ページ

10 画面の明るさを調節する

1 【暗く】【明るく】をタッチして、見やすい明るさに調節します。

2 【決定】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。画面右下の時計を見て、日付と時刻を確認してください。

トップメニュー画面

時計

・画面の明るさを変更したい場合は ➔ 取扱説明書「応用編」193 ページ

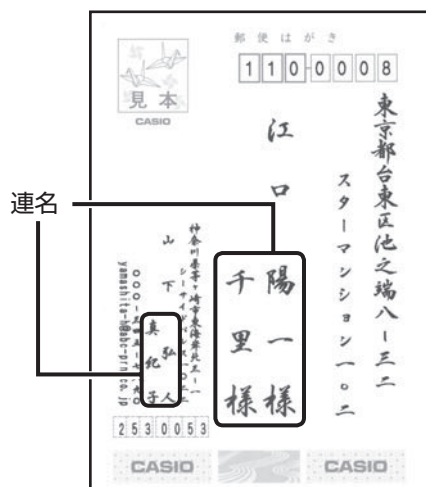
・トップメニュー画面は、本機の操作を開始する画面です。たとえば、宛名印刷をしたいときは、トップメニュー画面から【宛名】を選びます。本書では、操作の説明は、トップメニュー画面を表示させることから始めています。

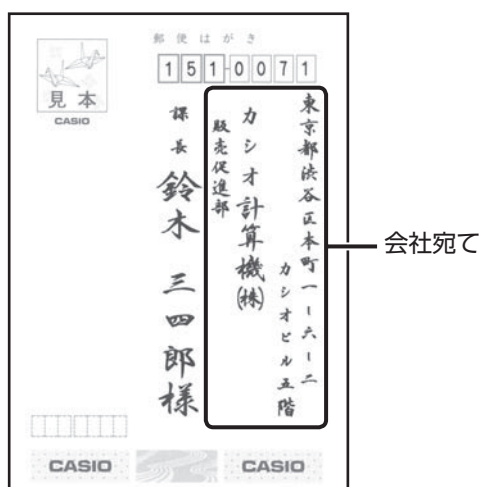
これで本機をお使いになる準備ができました。

はがきの宛名印刷

ここでは、宛名の入力から印刷までを説明します。
下のはがきを例に操作を説明します。 ➔ 14 ページ

連名の宛名を作りたいときは

➔取扱説明書「応用編」67、79 ページ

会社宛てに作りたいときは

➔ 18 ページ

宛名印刷の流れ

1 宛名を登録する（住所録の作成）

➔ 14 ページ

①宛名を入れる画面にする

②姓名を入れる

③郵便番号や住所を入れる

④入力した宛名を登録する

2 差出人を登録する

➔ 20 ページ

・宛名面に差出人を入れない場合は、この操作は飛ばして印刷に進んでください。

①差出人を入れる画面にする

②姓名を入れる

③郵便番号や住所を入れる

④入力した差出人を登録する

3 印刷する

➔ 25 ページ

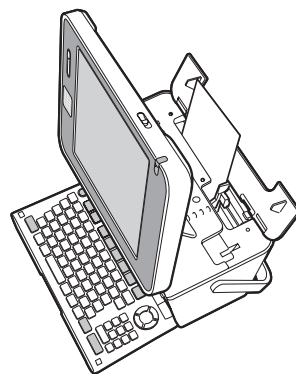
①印刷する対象を決める

②印刷の設定を決める

③用紙をセットする

④印刷する

・印刷前に画面で印刷結果を確認できます（印刷確認）。

➔ 取扱説明書「応用編」32 ページ

宛名を登録する（住所録の作成）

ステップ ❶ 宛名を入れる画面にする

1
[トップメニュー] を押します。

確認メッセージが表示されます。

2
【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

3
【宛名】をタッチします。

宛名メニューが表示されます。

4
【宛名の登録】をタッチします。

住所録選択画面が表示されます。

- 「会社」「親類」など用途に応じて住所録を分けたいときに、住所録 1 ～ 5 を使います。
- ここでは「住所録 1」に登録します。
- 詳しくは ➔ 取扱説明書「応用編」65 ページ

操作を間違えたときは

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

5 【住所録1】が選ばれていることを確認し、【決定】をタッチします。

初めて使用するときは下の確認画面が表示されます。

【はい】をタッチすると、宛名の登録画面が表示されます。

ポイント

はがきの宛名は、個人宛、会社宛の2種類作ることができます。本書では、個人宛の登録のしかたを説明しています。

宛名の登録画面で【会社宛へ】をタッチすると、会社宛の入力画面に切り替えることができます。

詳細は、18ページをご覧ください。

ステップ 2 姓名を入れる

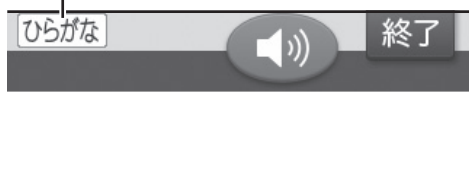
キーボードを使用して操作してください。

1 名字(姓)をひらがなで入力します。

ここでは [え TEL] [く ヴ] [゛ o] [ち s] と押します。

- 文字を入力する方法には、「かな入力」と「ローマ字入力」があります。本書では、「かな入力」を例に説明しています。
  「ローマ字入力」に切り替える ➔ 取扱説明書「応用編」201 ページ
  また、表示画面に手書きで入力することもできます。
  「手書きで文字を入力する」➔ 取扱説明書「応用編」53 ページ

入力する文字種を切り替えるときは

現在入力できる文字種

[ひらがな カタカナ] や [英字 大/小] を押すごとに、入力できる文字の種類を切り替えることができます。

[ひらがな カタカナ]：ひらがな ⟷ カタカナ

[英字 大/小]：英大文字 (ABC) ⟷ 英小文字 (abc)

- 数字はどの状態でも入力できます。

宛名を登録する（住所録の作成）（つづき）

ステップ❷ 姓名を入れる（つづき）

2

変換 を押して、漢字に変換します。

「江口」と変換されます。

姓	江口
名	
よみ	
敬称	様

- 画面下に「変換候補」が表示されます。変換候補について、詳しくは、取扱説明書「応用編」43 ページをご覧ください。

3

決定 を押します。

「江口」が確定されます。

姓	江口
名	
よみ	
敬称	様

4

「名」の項目をタッチして、名前（名）を入力します。

ここでは よ I う ー い □ ち S と押します。

姓	江口
名	よういち
よみ	えぐち
敬称	様

5

変換 を何度か押して、目的の漢字に変換し、決定 を押します。

変換 を押すごとに、「よういち」に当てはまる候補が順次、表示されます。

決定 を押すと、「陽一」が確定されます。

姓	江口
名	陽一
よみ	えぐち
敬称	様

入力した文字を削除したいときは

後退：カーソルの1つ前の文字を削除できます。

削除：カーソルの1つ後の文字を削除できます。

6 「敬称」の項目をタッチして、「よみ」と「敬称」を確認します。

よみ（自動的に入ります）・敬称

・宛名は「よみ」をもとに 50 音順に並び替えられて登録されます。
・「敬称」を変更する

➜取扱説明書「応用編」66 ページ

続いて「連名」も入力できます。

➜取扱説明書「応用編」67 ページ

目的の漢字に変換されないときは

難しい漢字や珍しい固有名詞など、［変 換］を押しても、目的の漢字に変換されないときは、［単漢字］キーで 1 文字ずつ漢字を変換することができます。また、【手書入力】をタッチして手書きで入力することもできます。

➜取扱説明書「応用編」44、53 ページ

ステップ❸ 郵便番号や住所を入れる

1 「〒」の項目をタッチして、郵便番号を入力します。

ここでは［1］［1］［0］［0］［0］［0］［8］と押します。
「-」（ハイフン）は省いて、7 桁の数字だけ入力してください。

2 ［〒⇒住所］をタッチすると、郵便番号に対応した住所が自動的に入ります（郵便番号辞書機能）。

「東京都台東区池之端」と表示されます。

〒	1100008	〒⇒住所
住所	東京都台東区池之端	
TEL		

はがきの宛名印刷

宛名を登録する（住所録の作成）（つづき）

ステップ ❸ 郵便番号や住所を入れる（つづき）

3 住所の続きを入力します。

- 住所が長い場合には、途中で行を変えて（改行）入力します。
  ※住所は４行まで入力することができます。
  丁目 をタッチすると「丁目」が、番地 をタッチすると「番地」が入力されます。
  ここでは 8 − 3 2 改行 と押します。

改行され、２行目の先頭にカーソルが移動します。

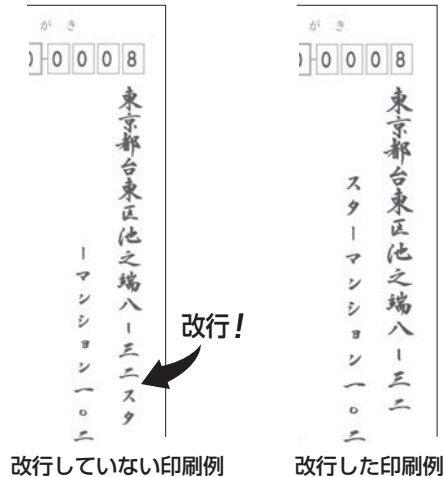
4 住所の2行目を入力します。

- カタカナを入れる場合は、ひらがな/カタカナ を押して入力モードを切り替えてから入力します。
  ここでは ひらがな/カタカナ す た 長音 ま ん し シフト/かな小 よ ん 1 0 2 と押します。
- 長音 （ー）と − （ハイフン）を間違えないように注意してください。

- 続いて「電話番号（TEL）」なども入力できますがここでは省略します。
  ➔取扱説明書「応用編」67 ページ

ポイント

住所は区切りの良いところで改行を！

改行をする／しないによって印刷の仕上がりは変わるので、キリの良いところで改行してください。

会社宛ての宛名を作りたい

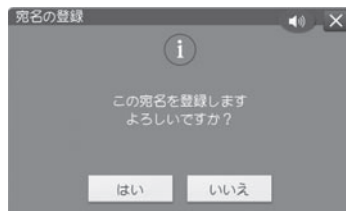
次のように入力します。

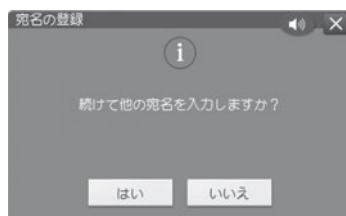
- 会社名　　：カシオ計算機（株）
- 部署名　　：販売促進部
- 役職　　　：課長
- 住所１行目：東京都渋谷区本町1−6−2
- 住所２行目：カシオビル5階

詳細は、取扱説明書「応用編」68 ページをご覧ください。

ステップ 4 入力した宛名を登録する

1 【登録】をタッチします。

登録の確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

宛名が登録されてメッセージが表示されたあと、下のように表示されます。

3 続けて宛名を入力する場合は【はい】を、入力を終わる場合は【いいえ】をタッチします。

ここでは【いいえ】をタッチします。
宛名の一覧表示になります。

これで「宛名の入力」は完了です。

はがきの宛名印刷

登録した宛名の「修正」や「削除」をする場合は

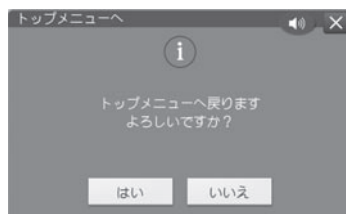
宛名の一覧表示（手順3の画面）で【修正】、【削除】をタッチします。

詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」74、75 ページ

差出人を登録する

ステップ ❶ 差出人を入れる画面にする

1 [トップメニュー] を押します。

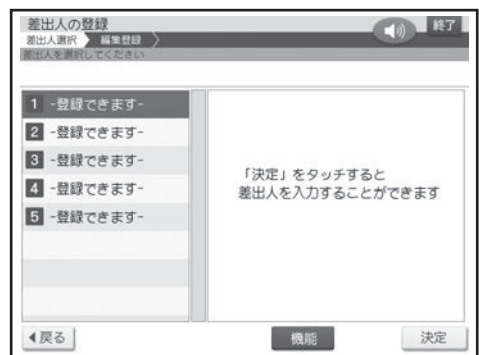
確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

3 【宛名】をタッチします。

宛名メニューが表示されます。

4 【差出人の登録】をタッチします。

差出人表示画面が表示されます。

- 差出人は 5 人まで登録することができます。
  詳しくは ➔取扱説明書「応用編」77 ページ
- ここでは「1」に差出人を登録します。

操作を間違えたときは

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

5 【1】が選ばれていることを確認し、【決定】をタッチします。

差出人を入れる画面になります。

ステップ❷ 姓名を入れる

キーボードを使用して操作してください。

1 名字（姓）をひらがなで入力します。

ここでは なZ か! やY ま& と押します。

姓 なかやま
名
連名1
連名2
連名3

2 変換 を押して、漢字に変換します。

「中山」と変換されます。

姓 中山
名
連名1
連名2
連名3

3 決定 を押します。

「中山」が確定されます。

差出人を登録する（つづき）

ステップ ❷ 姓名を入れる（つづき）

4

「名」の項目をタッチして、名前（名）を入力します。

ここでは [ひ ヶ] [ろ ：] [し W] と押します。

姓	中山
名	ひろし
連名1	
連名2	
連名3	

5

[変 換]を押して、漢字に変換します。

「博」と変換されます。

姓	中山
名	博
連名1	
連名2	
連名3	

6

[変 換]（または[▼]）を何回か押して、目的の漢字（浩）が表示されたら、[決 定]を押します。

「浩」が確定されます。

・名前の入力後、「連名」なども入れられます。
➜ 取扱説明書「応用編」79 ページ

ステップ ❸ 郵便番号や住所を入れる

1 「〒」の項目をタッチして、郵便番号を入力します。

ここでは 4 3 8 0 0 6 2 と押します。
「-」（ハイフン）は省いて、7 桁の数字だけ入力してください。

〒 4380062 〒⇒住所
住所
TEL
メール

2 〒⇒住所 をタッチすると、郵便番号に対応した住所が自動的に入ります（**郵便番号辞書機能**）。

「静岡県磐田市新島」と表示されます。

〒 4380062 〒⇒住所
住所 静岡県磐田市新島
TEL
メール

3 住所の続きを入力します。

ここでは 2 2 − 4 7 と押します。

4 「TEL」の項目をタッチして、電話番号を入力します。

ここでは 0 0 − 0 6 5 3 − 3 2 1 0 と押します。

- 続いて「メールアドレス（メール）」も入力できますがここでは省略します。
  ➔取扱説明書「応用編」80 ページ

差出人を登録する（つづき）

ステップ ❹ 入力した差出人を登録する

1 【登録】をタッチします。

登録の確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

差出人が登録されて、差出人表示画面になります。

これで「差出人の入力」は完了です。

登録した差出人の「修正」や「削除」をする場合は

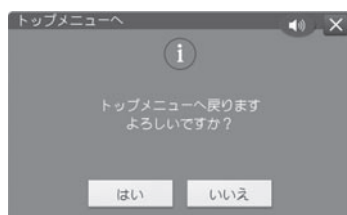
トップメニュー画面で【宛名】➜【差出人の登録】の順にタッチします。差出人表示画面から差出人をタッチし、【修正】または【削除】をタッチします。

詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」83、84 ページ

印刷する

ステップ ❶ 印刷する対象を決める

1 [トップメニュー] を押します。

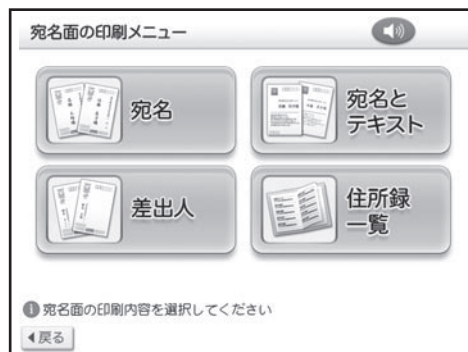
確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

3 【宛名】をタッチします。

宛名メニューが表示されます。

4 【宛名面の印刷】をタッチします。

宛名面の印刷メニューが表示されます。

5 【宛名】をタッチします。

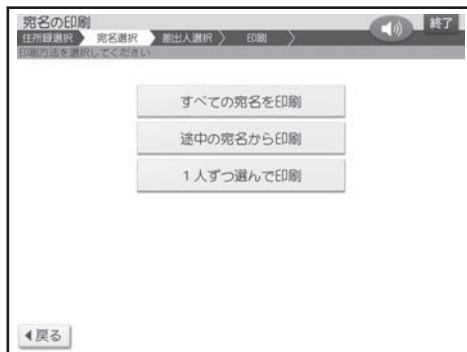
住所録の選択画面になります。

はがきの宛名印刷

印刷する（つづき）

ステップ ❶ 印刷する対象を決める（つづき）

6 【住所録1】が選ばれていることを確認し、【決定】をタッチします。

宛名印刷の種類を選ぶ画面が表示されます。

7 【すべての宛名を印刷】をタッチします。

差出人の選択画面が表示されます。

重要 ここでは入力したすべての人を印刷するので「すべての宛名を印刷」を選びますが、特定の人だけ選んで印刷する（「途中の宛名から印刷」「1人ずつ選んで印刷」）こともできます。
詳しくは ➜ 取扱説明書「応用編」85 ～ 89 ページ

8 宛名面に印刷する差出人をタッチします。
ここでは【中山浩】をタッチします。

印刷設定画面が表示されます。

画面の右側に印刷イメージが表示されます。【拡大】をタッチすると、印刷イメージが拡大されます。

ステップ ❷ 印刷の設定を決める

1 項目をタッチし、表示された画面で内容を選んでタッチします。

- 設定できる項目と内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください。
- ここでは、このままの設定とします。

印刷設定項目

●はがきの種類：年賀はがき／普通はがき／かもめ～る／エコーはがき

- 「年賀はがき」は、宛名面の下が「お年玉くじ付き」の場合に指定します。
- 「エコーはがき」は、宛名面の下 1/3 が広告付きの場合に指定します。
- 「暑中見舞い」のはがきで、くじ付きの場合は「かもめ～る」を指定してください。
- 通常の「郵便はがき」（郵便事業株式会社製）の場合は、「普通はがき」を指定します。
- 用紙の種類によって、差出人の郵便番号の位置が違うため、異なった用紙を指定すると、郵便番号枠に収まりません。
- エコーはがきへの宛名印刷では宛名や差出人の一部の項目が印刷できません。詳細は、取扱説明書「応用編」85、87 ページをご覧ください。

●文字の方向：縦書き／横書き（宛名と差出人の印刷方向の選択）

- お使いのはがきによっては、印刷方向が固定される場合があります。

●フォント：ゴシック体／丸ゴシック体／明朝体／毛筆流麗体／毛筆楷書体の 5 種類から選択します。

●マーク：宛名を分類するための目印です。
詳しくは ➔ 取扱説明書「応用編」95 ページ

2 【印刷】をタッチします。

用紙セットの確認画面が表示されます。

ステップ ❸ 用紙をセットする

用紙セットの前に

- ●はがきに印刷する前に、まず付属の「はがきサイズ用紙」で試し印刷してみることをおすすめします。
- ●一度にセットできる枚数について
  - ・郵便はがきの厚さの場合で「20 枚まで」です（印刷枚数は 99 枚まで設定可能です）。
  - ・「インクジェット紙光沢年賀郵便はがき」は 1 枚ずつセットしてください。
  - ・市販の「フォト光沢はがき」で用紙どうしが貼り付きやすい場合は、1枚ずつセットしてください。
- ●写真店などで注文することができる「写真付きポストカード」（郵便はがきに写真が貼り付けられているもの）の宛名面への印刷はできません。紙詰まりや故障の原因となりますので使用しないでください。
- ●用紙は、必ず、印刷停止中にセットしてください。印刷中に用紙の出し入れは行わないでください。故障の原因になります。
- ●用紙どうしが静電気の影響などで貼り付いているときは、間に空気を入れるなどしてからセットするか、1 枚ずつ印刷してください。

1 給紙トレイを開き、用紙ガイドを右側に拡げます。

2 印刷面を表側にして、軽く止まるまで差し込みます。

用紙の左端を挿入口の左端に沿わせて挿入します。

3 用紙ガイドを用紙に当たるまで左側にスライドさせます。

ステップ ❹ 印刷する

1 排紙トレイを引き出します。

2 【印刷開始】をタッチします。

「印刷中です」と表示され、印刷が始まります。

3 印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

次ページでは、用途に合わせたいろいろな宛名印刷をご紹介しています。

お役立ち情報

用途に合わせていろいろな宛名印刷ができます。

差出人を印刷しない

・26 ページ手順 8 の印刷設定で、【差出人は印刷しない】をタッチしてください。

差出人のみ印刷する

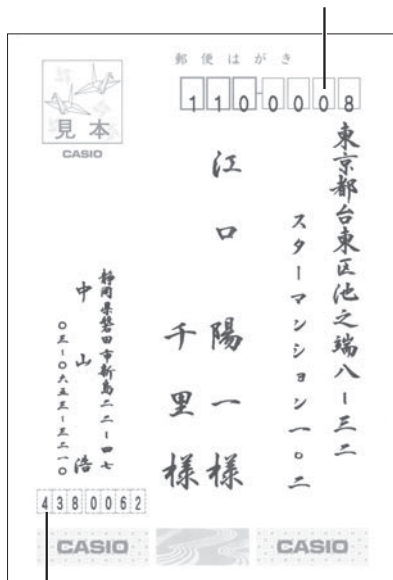
・宛名を印刷しないで、差出人名だけを印刷したいときは、25 ページの手順 5 で【差出人】をタッチします。

都道府県を省略したい

・郵便番号辞書の入力で都道府県を省略することもできます。➔ 取扱説明書「応用編」101 ページ

郵便番号の印刷位置を調整したい

宛名の郵便番号位置がずれた例

取扱説明書「応用編」97 ページ

差出人の郵便番号位置の調整は

➔ 取扱説明書「応用編」98 ページ

別姓の複数の人宛てに出したい

次のように入力します。
- ・姓：何も入力せず
- ・名：江口陽一
- ・連名1：鈴木三四郎
- ・連名2：坪井朝雄
- ・連名3：山下弘人

宛名の文字の大きさを変えたい

宛名面の文字の大きさは、本機では変更することはできません（自動的に調整されます）。
宛名に余分な空白が入力されている場合は、空白を削除してください。

宛名や差出人の確認・修正・削除などをしたい

取扱説明書「応用編」72 ～ 75、82 ～ 84 ページをご覧ください。

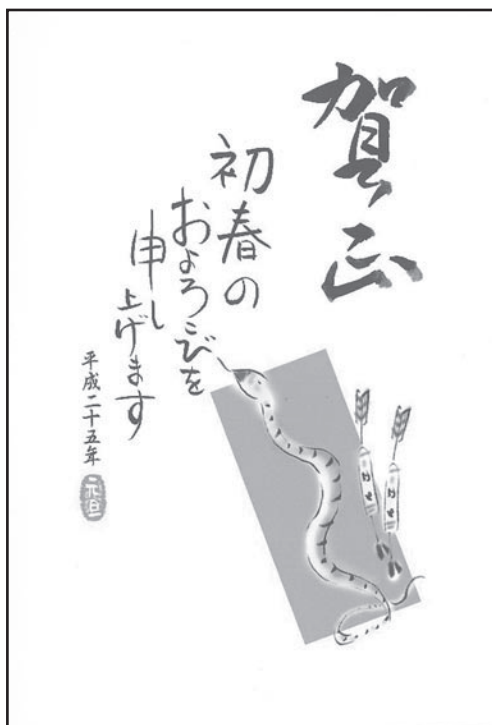
はがきの文面印刷

ここでは、文面の作成から印刷までを説明します。

文面作成（カンタン作成）の種類

本機に登録されているデザインを選ぶだけで、簡単に文面を作ることができる機能を「カンタン作成」といいます。カンタン作成には、「イラスト入りの文面」と「写真入りの文面」があります。

イラスト入りの文面

イラスト入りのデザインを選ぶだけで、カンタンに作ることができます。 ➔ 34 ページ

差出人入りのデザインも選べます！

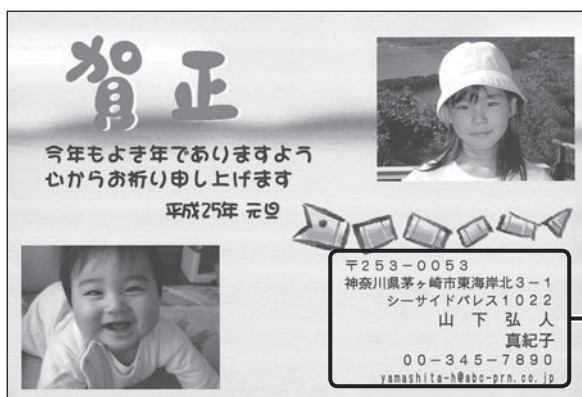
➔ 取扱説明書「応用編」109 ページ

写真入りの文面

デザインを選んで写真を入れます。 ➜ 38 ページ

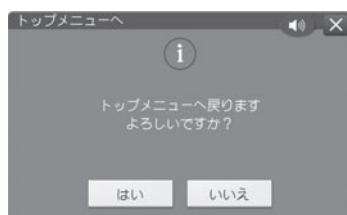
ポイント

写真のデータが入ったメモリーカードが必要です。

差出人入りのデザインも選べます！

➜ 取扱説明書「応用編」109 ページ

● 文面作成には「カンタン作成」以外にも、見出しやイラストを選んで作る「組み合わせ作成」や自由に文字を入力して作る「オリジナルはがき作成」があります。 ➜ 取扱説明書「応用編」111、123ページ

イラスト入りの文面を作る

ステップ ❶ 印刷するデザインを選ぶ

1 トップメニュー を押します。

確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

3 【はがき文面】をタッチします。

はがき文面メニューが表示されます。

4 【カンタン作成】をタッチします。

ジャンル選択画面が表示されます。

操作を間違えたときは

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

5 【年賀状】をタッチします。

デザイン選択画面が表示されます。

・【◀】【▶】をタッチして、前後のデザインの一覧を表示することができます。

・本機では、「干支」のイラストやデザインは、十二支すべてを内蔵しています。
詳しくは ➜「デザインカタログ」

6 作りたいイラスト入りのデザインをタッチします。

選んだデザインの完成画面が表示されます。

ポイント

手順 6 で、差出人を入れられるデザインを選ぶと、文面に差出人を入れることができます。

➜ 取扱説明書「応用編」109 ページ

差出人を入れられるデザインであることを示します。

差出人を入れられるデザインで、差出人を入れたくない場合は、次の操作を行ってください。

・差出人を入れられるデザインをタッチした後に表示される画面で、【差出人を入れない】をタッチします。

イラスト入りの文面を作る（つづき）

ステップ ❷ 印刷の条件を決めて、印刷をする

1 【印刷】をタッチします。

印刷設定の画面が表示されます。

2 項目を選び、設定したい内容にタッチします。

- 「印刷部数」は数字キーで入力または【+】【−】をタッチして設定します。
- 設定できる項目と内容については、下記の「印刷設定項目」をご覧ください（「用紙サイズ」は手順 3 の用紙セット確認画面で表示されます）。
- ここでは、このままの設定とします。

印刷設定項目

●紙質：

印刷する用紙の種類を指定します。
フォト光沢紙 / インクジェット紙 / 普通紙

●印字タイプ：

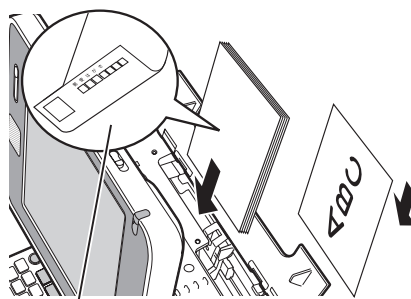
美しく印刷したいか、速く印刷したいかを指定します。
高精細（より美しく印刷）/ 普通 / 高速（すばやく印刷）
「高精細」は時間がかかりますが、より美しく印刷することができます。

●印刷部数：

1 ～ 99 部
同じ文面を何枚印刷するかを指定します。

3 【次へ】をタッチします。

用紙セットの確認画面が表示されます。

4 印刷面を表側にして、はがきサイズの用紙をセットします。

郵便番号枠の面を裏側にして、
下向きにセットします

- 用紙のセット方法

➜ 取扱説明書「応用編」22 ページ

5 排紙トレイを引き出します。

6 【印刷開始】をタッチします。

「印刷中です」と表示され、印刷が始まります。

7 印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

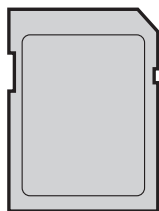
写真入りの文面を作る

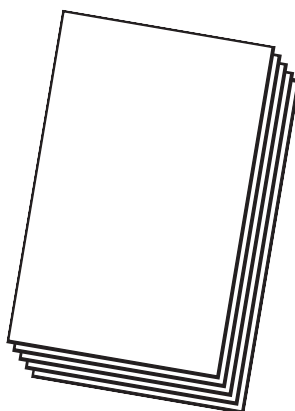
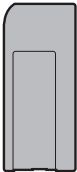
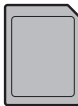
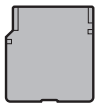
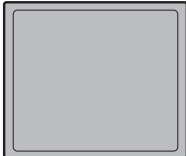
選んだデザインにデジタルカメラで撮った写真を入れて、文面を作ることができます。
ここでは、下のはがきを例に説明します。

用意するもの

あらかじめ以下のものを用意しておいてください。

メモリーカード

（写真のデータが記録されているもの）

印刷用紙

- はがきを使います。

本機で使えるメモリーカード

本機では、下表のメモリーカードを使うことができます。

重要 メモリーカード挿入口①～③の位置については、40 ページをご覧ください。

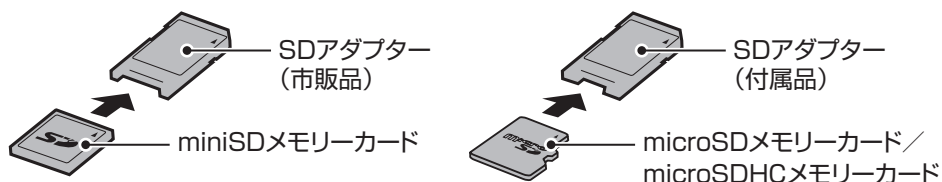
分類１（挿入口①に挿入します）	
• **メモリースティック**※1（最大容量：128MB） • **メモリースティックPRO**※1（最大容量：4GB）	• **メモリースティックデュオ**※1（最大容量：128MB） • **メモリースティックPROデュオ**※1（最大容量：32GB）
分類２（挿入口②に挿入します）	
• **SDメモリーカード**（最大容量：2GB） • **SDHCメモリーカード**（最大容量：32GB）	• **マルチメディアカード**（最大容量：1GB）
• **miniSDメモリーカード**※2（最大容量：2GB）	• **microSDメモリーカード**※2（最大容量：2GB） • **microSDHCメモリーカード**※2（最大容量：32GB）
• **xD-ピクチャーカード**（最大容量：512MB） • **xD-ピクチャーカード Type M**（最大容量：2GB） • **xD-ピクチャーカード Type M+**（最大容量：2GB）	**分類３（挿入口③に挿入します）** • **コンパクトフラッシュ（TYPE I/TYPE Ⅱ）**※3（最大容量：8GB）

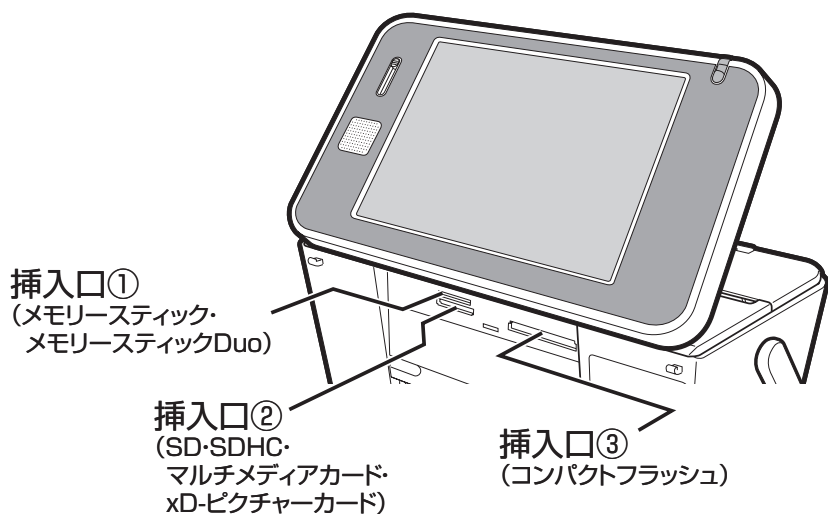
※ 1　マジックゲート機能が必要なデータは扱えません。

※ 2　SD アダプターに取り付けたあと、本機に挿入してください。
- miniSD メモリーカード：市販の SD アダプターをご使用ください。
- microSD メモリーカード／ microSDHC メモリーカード：本機に付属の SD アダプターをご使用ください。

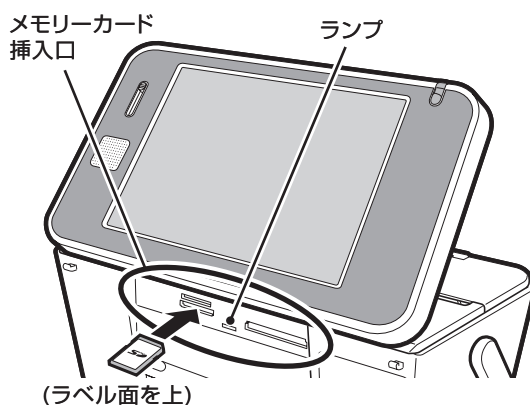
※ 3　UDMA 対応のコンパクトフラッシュカードは対応していません。

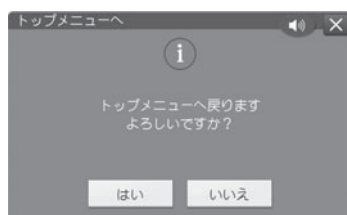
ポイント

SD アダプターへの取り付けは以下のようにしてください。

本機で使えるメモリーカード（つづき）

メモリーカード挿入口

ステップ ❶ メモリーカードをセットする

1 メモリーカード(写真のデータが記録されているもの)を、本機の対応する挿入口に差し込みます。

- メモリーカードが正しくセットされると、ランプが点灯します。

- その他、メモリーカードの詳細については、取扱説明書「応用編」27 ページをご覧ください。

ステップ ❷ 印刷するデザインを選ぶ

1 トップメニュー を押します。

確認メッセージが表示されます。

2 【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

3 【はがき文面】をタッチします。

はがき文面メニューが表示されます。

4 【カンタン作成】をタッチします。

ジャンル選択画面が表示されます。

操作を間違えたときは

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

写真入りの文面を作る（つづき）

ステップ ❷ 印刷するデザインを選ぶ（つづき）

5 【年賀状】をタッチします。

デザイン選択画面が表示されます。

6 写真を入れられるデザインを選びます。

- 【◀】【▶】をタッチして、前後のデザインの一覧を表示することができます。

見本の写真の部分にお好きな写真を入れることができます。

7 作りたいデザインをタッチします。

メモリーカード内の写真が表示されます。

- 画面にエラーが表示されたときは、メモリーカードをしっかり差し込み直してください。

ポイント

本体に写真を登録し、文面に入れることもできます。「本体メモリー」のタブをタッチすると、本体に登録した写真の一覧が表示されます。

詳細は、取扱説明書「応用編」107、140 ページをご覧ください。

ステップ ❸ 文面に入れる写真を選ぶ

1 文面に入れる写真を選びます。

- 【◀】【▶】をタッチして、前後の写真の一覧を表示することができます。

2 使いたい写真をタッチします。

写真の範囲、向き、位置などを調整する画面が表示されます。

- 写真の範囲、向き、位置などの調整方法 ➜ 取扱説明書「応用編」132 ページ
- 写真 2 枚入りのデザインを選んだ場合には、手順 1 ～ 2 の操作を繰り返します。

3 【決定】をタッチします。

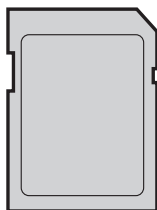
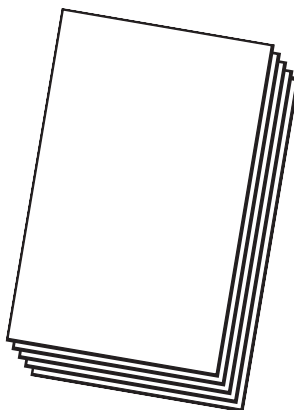
写真が入った完成画面が表示されます。

4 印刷の条件を決めて、印刷をします。

操作は、「イラスト入りの文面を作る」と同じです。➜ 36 ページ「印刷の条件を決めて、印刷をする」

写真の印刷

用意するもの

あらかじめ以下のものを用意しておいてください。

写真を印刷する

ステップ ❶ 印刷する写真を選ぶ

1 メモリーカードをセットします。

メモリーカードのセット方法 ➔ 40 ページ

2 [トップメニュー] を押します。

確認メッセージが表示されます。

3 【はい】をタッチします。

トップメニュー画面が表示されます。

4 【写真プリント】をタッチします。

メモリーカードの内容が表示されます。

- 画面にエラーが表示されたときは、メモリーカードをしっかり差し込み直してください。

ポイント

本体に登録した写真を印刷することもできます。「本体メモリー」のタブをタッチすると、本体に登録した写真の一覧が表示されます。

詳細は、取扱説明書「応用編」140、146 ページをご覧ください。

操作を間違えたときは

【戻る】をタッチすると、1 つ前の画面に戻ります。

写真を印刷する（つづき）

ステップ ❶ 印刷する写真を選ぶ（つづき）

5 印刷する写真をタッチします。

印刷する枚数が表示されます。

- 【◀】【▶】をタッチして、前後の写真の一覧を表示することができます。

6 印刷する枚数を指定します。

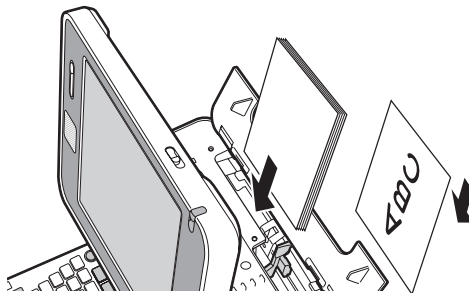
- 写真をタッチするたびに、印刷枚数が増えます。
- 数字キーで入力または【+】【−】をタッチして指定することもできます。
- すべての写真を同じ枚数印刷するときは、【一括指定】をタッチします。
  取り消すときは【全て解除】をタッチします。

- 別の写真も印刷したいときは、手順 5 ～ 6 を繰り返します。

ステップ ❷ 印刷をする

1 【印刷】をタッチします。

用紙セットの確認画面が表示されます。

2 用紙の印刷面を表側にしてセットします。

- 用紙のセット方法
  ➜ 取扱説明書「応用編」22 ページ

3 排紙トレイを引き出します。

4 【印刷開始】をタッチします。

「印刷中です」と表示され、印刷が始まります。

5 印刷が終わったら、排紙トレイを戻します。

重要 キーボードを閉じる前に、必ず排紙トレイをカチッと音がするまで戻してください。
排紙トレイを出したまま、キーボードを閉じると故障の原因となります。

写真を印刷する（つづき）

ステップ ❷ 印刷をする（つづき）

ポイント

写真を印刷するときの条件を変えたいときは、以下の操作をしてください。

1 46 ページの手順 1 の画面で【用紙変更】をタッチします。

用紙サイズ指定画面が表示されます。

2 印刷したい用紙をタッチします。

ここでは「L 判」を選びます。
46 ページの手順 1 の画面に戻ります。

3【印刷設定】をタッチします。

印刷設定の画面が表示されます。

4 項目と内容を選んでタッチします。

- 設定できる項目と内容については、右記の「印刷設定項目」をご覧ください。

5【決定】をタッチして、印刷設定の項目を確定します。

手順 1 の画面に戻ります。

印刷設定項目

●紙質：
印刷する用紙の種類を指定します。
フォト光沢紙 / インクジェット紙 / 普通紙

●印字タイプ：
美しく印刷したいか、速く印刷したいかを指定します。
高精細（より美しく印刷）/ 普通 / 高速（すばやく印刷）
「高精細」は時間がかかりますが、より美しく印刷することができます。

●フチ：
写真のフチあり／なしを設定します。

●日付
撮影の日付のあり／なし、日付の色を設定します。
日付なし／黒／赤／青／白／他の色

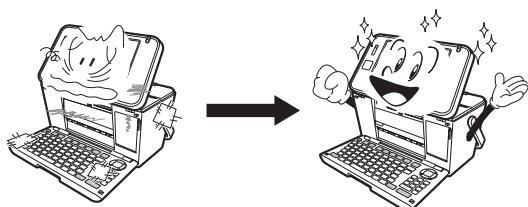
●写真の色
写真の色を設定します
カラー／白黒／セピア

- 詳細設定項目

➔ 取扱説明書「応用編」147 ページ

お手入れの方法

本機をしばらく使用しなかった場合には、「印刷がきれいにできない」などの症状が出ることがあります。その場合には、以下の手順で、本機のお手入れをしてください。

① プリンターのメンテナンスをする

▶▶ **応用編**　195 ～ 196、
202 ～ 205 ページ

② プリンター・プリントカートリッジのクリーニングをする

▶▶ **応用編**　196、202 ページ